



## 夏休み特集 玉原の自然を満喫

# 今年の夏はペンションに泊まろう

家族経営が主流で、洋風の小規模な宿泊施設のペンション。玉原高原には12棟あり、安価な宿泊料金や個性的なオーナーとの触れ合いが魅力です。新型コロナで遠くに遊びに行けない今年は、市内のペンションでゆっくりしてみたいはいかがですか。

問合せ 観光交流課観光推進係 ☎内線5032

## こだわりワインと湿原 楽しんで



ペンション バン・デ・ルージュ  
— 杉山弘一さん・紀子さん —

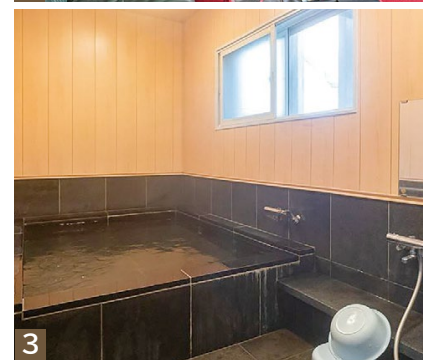
玉原のブナ林の中にひっそりと佇む白と茶色を基調としたペンション。出窓からは手入れされた白やピンクの花々が顔をのぞかせ、食堂に備えられたバーカウンターではお客様の趣向に合わせて酒を振る舞います。

フランス語で赤ワインを意味する屋号の「バン・デ・ルージュ」。その名のとおり、ワインがおいしいペンションとして人気があり、県内外からリピーターが多いといえます。ボルドーやブルゴーニュなど厳選して取り寄せ、ワインに合うチーズも数種類そろえます。妻の紀子さんは料理の他にも、ペンション周辺で集めたブドウのつるなどの植物で季節に合わせたリースを作り、内装をコーディネートします。

弘一さんは時間を見つけては玉原の散策に出掛け、SNSで様子を伝えていきます。お客様にも散策を薦め、季節の花や鳥を観察しながら楽しんでもらえるように、その人に合ったさまざまなコースを提案します。「玉原は日帰りでは回れないぐらい見どころがたくさん。1日目はラベンダーパークを楽しみ、次の日は湿原や鹿俣山を歩いて自然を満喫してもらえたら」と目を細めます。

多くは県外からの宿泊者ですが、新型コロナで遠出できず、比較的感染しにくい自然の中だからこそ、市民の皆さんにはこの夏、ぜひ訪れてほしいといえます。「近場でも宿泊すると、日頃の疲れがとれてリフレッシュできます。シジュウカラやキビタキのさえずりで目覚め、カーテンを開けると目の前に広がるブナ林。これまでなかなか足を運ぶ機会がなかったと思います。大自然と触れ合い、地元の良さを改めて感じてほしいです」と話します。

子どもの夏休みの自由研究の宿題や、日常から離れて気分転換するためにも、訪れてみてはいかがでしょうか。



1. ロフトは秘密基地のように遊ぶなど子どもに人気 2. 閑散期のプレイルームは英典さんのアトリエに 3. 体を伸ばしてゆったりと温泉気分を味わえる

たんばらラベンダーパークの目の前に位置し、フランス・パリのシャンゼリゼ通りと並ぶ通りの名が付いたペンション「サントノーレ」。オーナーが描いた人物や風景、果物などの油絵が、館内の至る所に飾られ、個展にきているかのような大人な雰囲気を感じられる一方、子ども向けのプレイルームを完備するなど、夏休みに家族で訪れる旅行者も多いといえます。

ブン。英典さんは東京都で、百合香さんは岩手県出身。これまで旅行会社やペンシ

## 家庭的なおもてなし 家族で訪れて



ペンション サントノーレ  
— 松井英典さん・百合香さん —

ンに勤めるなど、観光のおもてなしが好きな夫妻は、自分たちのセンスを生かした経営をしたいと思い、また、目の前がスキー場で雪が深く、宿泊客に左右されにくいことから玉原に移住を決めました。

周辺のペンションの中では最も規模が大きく、走り回れるスペースやロフトを備えた客室があり、子ども連れの家族も楽しめます。2年前に家族風呂2つをリフォームし、24時間循環で温泉気分を味わえます。料理も好評で、スキーの宿泊客にスタミナをつけてもらおうと、牛肉のステーキを中心としたボリュームのあるフルコースは、通年提供しています。

新型コロナウイルスで客足が減り、キャンセルが相次ぐなど、

どこも経営は厳しいといえます。国の持続化給付金や宿泊支援のキャンペーンを使いながら、安心して訪れてもらえるよう対策を講じるほか、市の電子地域通貨「まほろ」も導入。英典さんは「市内の皆さんも気軽に遊びに来てもらえれば」と宿泊を呼び掛けます。

ペンションは家庭的で宿泊者と距離が近いことが特長。「話がはずみ朝になったことも。勤めていたときのお客さんが今でも遊びに来てくれるのが嬉しくて」と話し、「オーナーは個性的な人が多いです。だからこそ、距離を縮めて宿泊者に合わせたサービスなど、楽しんでもらえることもペンションの魅力です」と笑顔を見せます。



## ヨーロッパを思わせる 玉原高原のペンション

ペンションビレッジには、ヨーロッパの田舎町を思わせる雰囲気建物が並びます。宿泊料金1,000円引きなど、お得なキャンペーンを実施している施設もあります



市内ペンションの詳細はこちら



1. 香り高いワインと濃厚なチーズを楽しめる



2. バーカウンターにはワインや洋酒がずらりと並び



3. ブドウのつるのリース。コルクも再利用